



かもさと



議会 だより

- ◇9月定例会の審議状況 ……P 2
- ◇令和2年度決算審査報告 ……P 5
- ◇9月定例会一般質問に7人 …P 6
- ◇議会広報広聴常任委員会が
設置されました …P13
- ◇12月定例会会期日程等 ……P14

晩秋の青空遠くに榛名山



93

稲架(はさ)掛け
東堤地内

第5回 9月 定例会

9月3日～10月6日

9月定例会は9月3日に開会され、議員7名の一般質問と町長提出議案・認定16件他を審議して10月6日に閉会しました。



令和2年度決算を認定

◆ 名誉町民 ◆

上里町名誉町民の推薦につき同意を求めること

要旨 上里町名誉町民条例に基づき、関根孝道氏を名誉町民に推薦し、議会の同意を求めるものです。(関根氏の功績については広報かみさと10月号に掲載しています)

◆ 人事 ◆

教育委員会委員の任命

要旨 委員の阿久戸嘉彦氏が、令和3年9月30日をもって任期満了となるため、阿久戸氏の再任を提案するものです。

◆ 契約 ◆

工事請負契約の変更

要旨 令和2年度(繰越)上里町立長幡小学校校舎棟・特別教室棟改修工事について、1073万6千円の増額変更を行うものです。

◆ 令和3年度補正予算 ◆

上里町一般会計補正予算(第5号)

概要 歳入歳出それぞれ3億3761万5千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ96億1336万4千円とするものです。
主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・減債基金積立金(※)
1億5千万円

・財政調整基金積立金(※)
1億1千万円

※用語 基金

普通地方公共団体が条例の定めるところにより、特定目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設ける財産。

減債基金は町債の償還財源を確保し、財政の健全な運営に資するための資金を積み立てるための基金。

財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金。

・図書館運営事業(町立図書館・郷土資料館の改修)
2145万8千円

・予防対策事業(新型コロナウイルススワクチン接種予約システムコールセンターの設置を延長するための委託料)
1355万円

上里町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

概要 主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・一般管理給与費(時間外勤務手当) 156万4千円

上里町介護保険特別会計補正予算(第1号)

概要 主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・返還金(前年度の地域支援事業の実績報告に伴う国、県等への返還金)
730万3千円

・一般会計繰出金(前年度の介護保険事業の確定に伴う)

町への清算金)

594万9千円

上里町水道事業会計補正予算(第2号)

要旨 人事異動に伴い職員給与費に不足が生じるため16万円の増額補正を行うものです。

上里町下水道事業会計補正予算(第1号)

要旨 人事異動に伴い職員給与費に不足が生じるため88万5千1千円の増額補正を行うものです。

上里町一般会計補正予算(第6号)

要旨 歳入歳出それぞれ3370万8千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ96億4707万2千円とするものです。
主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・商工業者応援給付金事業

(新型コロナウイルス感染症拡大による支援策)
3170万8千円

・町内農業担い手応援給付金事業(新型コロナウイルス感染症拡大による支援策)
200万円

意見書

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実に求める意見書(案)(※)

要旨 国の令和4年度地方財政計画の策定に向け、十分な額を確保することを要望するものです。

※用語 意見書

地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた文書のこと。案が可決されると意見書を国会又は関係行政庁に提出することができます。

9月定例会 議案に対する各議員の賛否

議案	議員名					猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	植井敏夫	高橋正行	納谷克俊	沓澤幸子	高橋 仁	新井 實	結果
	黨 浩之	高橋茂雄	高橋勝利	飯塚賢治	仲井静子										
上里町名誉町民の推薦につき同意を求めること	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	同意
教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	同意
令和3年度	上里町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度	上里町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	○	○	認定
	上里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	×	○	○	認定
	上里町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	認定
	上里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	認定
	上里町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	認定
	上里町水道事業剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	認定
	上里町下水道事業決算認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	認定
工事請負契約の変更	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和3年度上里町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実に求める意見書(案)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○賛成 ×反対 一欠席)

令和2年度決算に対する決算特別委員会の質疑事項（抜粋）

9月9日、議員12名で構成する決算特別委員会が設置され、各会計の決算内容の審査が付託されました。決算特別委員会の審査は、9月10日から28日まで実施し、令和2年度決算内容について各課担当職員に対し、決算書をもとに細部にわたり審査いたしました。

子育て世代包括支援センターについて

問 令和元年度に設置されたが、利用状況はどのようか。

答 庁舎内に設置したコーナーや保健センターの健診、児童館の行事等において、利用者専門員が相談に応じている。令和元年度は56件であったが、令和2年度は214件の相談実績があった。

お出かけサポート事業について

問 こむぎっち号を補完する事業ととらえているが、利用者が少ない要因は。

答 令和2年度からの新規事業であり、まだ周知が進んでいなかった。徐々に周知され始めており、今後もPRをしていきたい。



委員会の様子

コロナ禍における教員の負担について

問 コロナ前と比較してどのくらい増えたのか。

答 時間外勤務月80時間超えの教員は減少してきている。働き方改革が進み、学習支援員やスクールサポートスタッフに放課後の消毒作業や朝の健康観察のチェックをしてもらっており、教員は授業に専念できている。

国保特別会計への一般会計繰入金について

問 減少した理由と今後の見通しはどうか。

答 税率改定が行われたこと、納付金算定における激変緩和措置や県の留保金の充当などにより納付金額そのものが減額となったことで減少した。令和9年度までに埼玉県を示す標準税率に合わせることであれば、将来的にはその他一般会計繰入金の投入は解消できるものと思われる。

児童生徒の家庭におけるインターネット環境について

問 自宅でオンライン学習を行えるよう、全ての家庭にインターネット環境が整ったのか。

答 教育委員会から「各家庭のWi-Fi環境整備についてのお願い」という依頼文書を発出しており、現在は9割半ばくらいの整備状況である。インターネット環境が整っていない児童生徒には、モバイルWi-Fiルーターを貸し出せるようにしている。

堤調節池運動公園トイレについて

問 水洗トイレの設計業務を実施したが、その後はどうなったのか。

答 令和3年度に工事を実施する予定であったが、コロナの影響による収収減少を見込んで、新築工事の予算計上を見合わせた。公園を快適に利用していただくためにも、早期に工事を実施したいと考えている。



現地視察の様子

農地パトロール（利用状況調査）について

問 結果をどのように活かしているのか。

答 事務局からは所有者に対し、遊休農地の解消をお願いする通知を発送している。農地バンク、中間管理事業にうまく繋げていきたいと考えている。

町民体育祭の開催について

問 新型コロナウイルス感染拡大により中止となっているが、コロナ禍以前から町民体育祭の取り組みについて考える時期にあるのではないかという話があった。どのように考えているのか。

答 アンケートによると「開催を希望しない」が57.9%となっており、この結果については重く受け止めている。少子高齢化が進んでおり、体育祭開催準備が大変だというご意見がある一方、体育祭は町民の交流の場であり、50年間続いてきた歴史もあるので続けていきたいというご意見もある。町にとって一番良い方法を皆様と検討していきたい。

キャッシュレス決済推進による地域経済活性化事業について

問 町民にどれだけメリットがあったのか。決裁事業者の選定等について、不公平であるという意見もあるが。

答 特に30代から50代に多くご利用いただき、大変好評であった。ご意見については真摯に受け止めます。

令和2年度 決算審査報告 ～すべて認定すべきものと決定～

10月6日、決算特別委員会における決算審査について、委員長から報告がありましたので一部を紹介します。なお、令和2年度の決算額等については、「広報かみさと11月号」に詳しく掲載してありますので省略します。

決算特別委員会

委員長 仲井 静子

職員健康管理事業では、職員の働き方改革として、職員の能力を十分に発揮していただく為に、時間外勤務・有給休暇も含め、健康診断及びメンタルチェック等も配慮していただきたい。

行政改革推進事業の「公共施設再配置・維持保全計画」「公共施設点検マニュアル」を公共施設の機能維持・長寿命化に向け、有効に活用していただきたい。

国民健康保険特別会計では、定年を迎え国保へ移行する人が増える中、厳しい状況と察するが、国民健康保険税においては、町民の生活を圧迫しない保険料を設定する努力と、加入者に対する理解を深める努力が必要である。

ゴミの減量化に向けた取り組みとして、「広報かみさと」等で啓発記事を載せ住民に周知しているが、分別が徹底されていない地区もあり、効果のある方法を模索し努力していただきたい。

「上里町空き家意向調査」は所有者のみの調査であったが、庭木・雑草・虫など環境面で周囲に住む住民の考えも聞くべきと言う意見も有り、アンケート調査結果を今後の空き家対策に生かしていただきたい。

男女共同参画推進センター運営事業の利用状況は、利用件数が平成26年以降低迷している為、老朽化の激しい七本木公民館の機能を男女共同参画推進センターに移転し、男女共同参画の推進という目的が失われることが無いよう再配置計画を前倒しして、施設運営の効率化を図っていただきたい。

予防対策事業の各健康診査の受診率は低く、早期発見・早期治療が大切なことから、受診率向上に向け、特にガン検診に努力すべきである。

議会要望で令和2年9月にスタートした高齢者お出かけサポート助成事業については、広報・HP・ケアマネジャー・訪問ヘルパーらの声掛けで周知をした事は評価できる。

町営住宅は改修し長寿命化を図り、入居条件を見直すなどして、入居者を増やす工夫をすべきである。

水道事業では、漏水により地下へ約20%流出していることにより、道路の陥没などの危険性がある。今後、有収率向上に努力していただくと共に、老朽管や非常用発電機などの更新及び耐震化事業の推進により事業費の増加が見込まれるので、適正な料金改定などを通し健全な企業経営をお願いしたい。

土地改良推進事業の多面的機能支払交付金は4団体がすべて水路の浚渫に使用しているが将来の維持管理が円滑にいくよう計画的に且つ有効に使っていただきたい。

通級指導教室は送り迎えが必要となる為、各小学校を専門的知識のある先生が巡回して、対象となる子供の発見にもつなげて頂き、子供の立場に立った通級指導教室にしていただきたい。





新井 實

問 神保原地区駅北まちづくり事業について

答 発起人会で駅北まちづくり基本構想検討に着手

質問 1 政府が新型コロナウイルス感染者の療養方針を見直すことについて

問 政府は感染急増地域の療養方針に関し、入院対象として重症者のほか「中等症で酸素投与の必要な方、重症化リスクのある方」としたことに
ついて。

答 埼玉県は急激に病態が悪化した自宅療養者の入院の受け入れ先が決まるまでの段階として、酸素吸入を行う場所として、酸素ステーションの設置を進めるとのこと。抗生剤カクテル療法については、拠点病院を設け、適正投与を行い、1人でも多くの患者の重症化防止を実施している。

質問 2 新型コロナウイルス感染者数に占める子供の割合が急拡大していることについて

問 新型コロナウイルス感染者数に占める子供の割合が急拡大しているので、大人が注意して感染を防ぐことについて

て。

答 子どもにも感染させないため、大人の感染症予防策としては、緊急事態宣言の下、マスク・手洗い・三密回避など、基本的予防策の徹底、感染しない、させない心がけ、他人を思いやる大切である。

質問 3 小学校の通学路の安全対策について

問 危険箇所の総点検と対策を急ぐことについて。

答 県では千葉県八街市の事故を受け、第5期埼玉県通学路整備計画を当初予定の11月から前倒しして10月中にまとめると共に、緊急な対策が必要な箇所は、可能な限り本年度中に着手すると伺っている。町でも、県と同様に通学路における交通安全のさらなる確保に向けて早急に対応していく。

質問 4 道路や橋の管理について

問 SNS活用がもたらす効果

率化について。

答 今後とも、選ばれる町、住み続けたい町の実現に向けて、道路や橋梁の適切な維持管理と業務の効率化についてSNSの活用を含めて検討していく。

質問 5 神保原地区駅北まちづくり事業について

問 駅北まちづくり事業発起人会の今後の整備方針と事業内容について。

答 発起人会では、本年3月に実施したアンケート調査の結果を受けて、駅北まちづくり基本構想の検討に着手し、発起人会で協議した後、神保

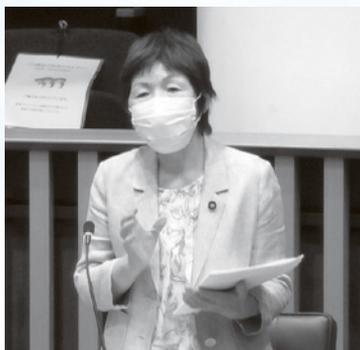


神保原駅北口の様子

原駅北まちづくり協議会に引き継ぐことにし、年内の発足を目指している。住民説明会も本年度中の開催を予定している。

問 駅北まちづくり事業の核としての旧トライアル跡地に本庄第一高校を誘致したいと町は6月頃まで予定していたと思うが、その後の状況について。

答 本年1月以降、町では学校法人の理事会において選定された移転希望地である神保原駅北側の大型商業施設跡地について、公有地化を図るため、地権者の代理人と交渉を重ねてきたが、地権者から再考したいとの申し出があり、現在交渉は中断している。学校法人にも地権側の考えは報告済みであり、町としても引き続き当該用地の取得に向けて取組を継続していきたい旨を伝えてある。町としては、再度用地交渉を進められるよう地権者側と協議していく考えである。



沓澤 幸子

問 平和首長会議加盟の町として積極的周知を

答 ホームページなどを活用していきたい

質問 1 立地適正化計画について

問 「立地適正化計画」第6章、誘導施設の子育て支援施設に、高等学校、大学、専門学校等とするのは、計画の目的と矛盾します。誘導施設は町民の利用で賑わいを生み出す施設に。

答 都市機能を誘導する区域は、神保原駅から徒歩800メートル圏内を基本とし、商業施設の誘致を検討。高等学校や大学などの教育施設環境の充実、子育て世代の定住促進が期待される。

問 駅北の商業施設跡地権者との交渉を一時中断したとの報告ですが、町のアンケートで、駅北口周辺の将来像の重要順位を尋ねた設問は、3位が健康増進・医療・福祉分野

を推進した住環境づくりでした。保健福祉複合施設の建設場所は。

答 今年度中には施設概要、建設予定地、整備手法を含めた基本構想を策定予定です。効果的かつ効果的に整備するために、民間活力導入の可能性等を調査している。

質問 2 平和事業について

問 町内2カ所の、核兵器のない平和で健康的な都市づくり宣言看板の文字が薄れていきます。多くの人に見える場所に良く見える様に周知を。

答 設置から約30年経過しており、必要があれば補修等を実施する。勝場地内の看板は、神流川橋の開通に併せ設置場所を検討したい。

問 広島・長崎両市長が呼び



文字が薄れた看板

かけた平和首長会議には、世界165カ国・8043都市、国内1734自治体が加盟しています。2017年に採択された核兵器禁止条約も今年発効されました。加盟の町として、条約批准の署名、会の目的や活動などを住民に積極的に周知すること。

答 宣言の趣旨に基づき、平和関連事業に参加や賛同をしている。平和首長会議には平成25年から加盟している。核兵器のない平和で健康な都市づくり宣言の実現に向け、ホームページなどを活用していきたい。

質問 3 コロナ感染対策について

問 コロナの爆発的な感染拡大で、医療崩壊がおきています。自宅療養による、家族間の感染拡大も深刻です。県に一刻も早く臨時医療施設の確保を求め、自宅療養者等への食料品や日用品の支援を、要望に応じて自治体で対応を。

答 自宅療養者の情報は県が把握し、町へも伝えられないが、他の保健所管内では、町が支援すると保健所に言えば、個人から町に問い合わせる案件もあるので、今、担当課長に保健所との接触を指示した。

問 デルタ株が主流になり、子どもへの感染が拡大する中、2学期がスタートしました。感染が起きた場合の学級・学年・学校閉鎖や、登校等の相談対応や基準を周知する必要と、リモート授業等を保障するためのwifi等ご家庭の通信整備の把握と端末の持ち帰り状況は。

答 教育長 家族に陽性者が出た場合は、子どもは家庭待機という対応が徹底されている。クラス内で感染の可能性がある場合は躊躇なく学級閉鎖を行う覚悟です。臨時休校、長期休業の際に学習用パソコン端末を持ち帰れるよう、使い方や約束事、家庭でのネット環境調査等保護者に理解していただき準備してきた。



納谷 克俊

問

終末処理場予定地跡の活用について

答

有効活用を検討していきたい

質問 2

農業振興について



下水道終末処理場予定地跡

質問 1

公共下水道終末処理場予定地跡について

問 公共下水道終末処理場予定地跡について、これまでどのような検討がなされ、今後どのような利用計画を考えられているのでしょうか。

答 この土地で事業実施していくためには解決すべき点が多く、引き続き本庄道路の工事の進捗や社会情勢の変化を視野に入れつつ、有効活用を検討していきたいと思えます。

問 7月28日に開かれた全員協議会において説明を受けた農業振興地域整備計画の変更について、この土地は昨年8月の農業委員会で農地法3条1項の許可をされたと思いますが、町はどのような考えの下、農業委員会に意見を聞くのでしょうか。

答 今回、農産物加工施設の計画地となっている場所については令和2年8月に、町内の農業法人より農業委員会に対して農地法第3条の許可申請がなされ、同月許可となっています。

農産物加工施設の候補地であるJA上里営農センターから300mの範囲であることから、町内の農業法人に対してヒアリングを行い、農地取得後3年3作の要請がされることについて町より指導しました。

町内農業法人からはこのたびの申請はスマート農業導入と併せ、圃場の大規模化による営農規模の拡大であるとの

説明を受けています。

町としては農産物加工施設の設置が農業所得の増大や農業担い手育成、農地の保全など、上里町の農業振興に大きく貢献し、期待できる事業であると考え、令和2年10月以降、農協や埼玉県をはじめ、関係する機関と連絡調整を重ねました。

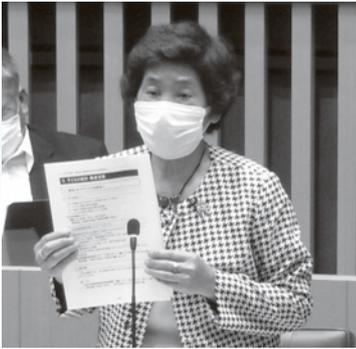
町が農産物加工施設の設置場所を含めた当該計画の具体的なスケジュールについて、事業計画者から相談を受けたのは令和3年3月末です。計画地が農地法第3条で取得した土地であり、早期転用となってしまうことから町内農業法人に説明を求めると、「当社としては地域に根差す農業法人として、事業用地の提供など生産者の一員として当該計画に協力し、地域振興に貢献していきたいと考えている。」とのことでありました。これを受けて町としては、早期転用そのものは農業振興地域整備計画の用途変更の要



件及び農地法上の許可基準に抵触しないものの、早期転用を行うべき特段の理由があるかどうか、この点について検討を行いました。この農産物加工施設の設置は、単に事業者による事業計画にとどまらず、農業を核とした町の方創生により、継続的な農業振興に資する公益性のある事業であるという点や、計画地は幹線道路に接道しているなど、立地的に事業候補地として適切であるという点、また、加工施設の用地確保の面においても、事業実施のスケジュールに最適であるという点など、総合的な判断により令和3年7月、事業計画者からの申出を受付しました。



仲井 静子



問 子どもの相談・発達支援について

答 児童及びその保護者への支援強化に努める

質問 1
ピアサポート支援について

問 平成30年に、発達障害者及び家族等支援事業が新規事業として組み込まれた。発達障害児の家族同士の支援を推進する為、同じ悩みを持つ本人同士や家族同士で支えあう、ピアサポート等の支援を充実させ、生活の質の向上を図るものである。障害児を持つ親の交流の場、活動の場の支援について町長のお考えは。

答 保護者の交流の場、活動の場については、保護者間の相談・情報交換の場として重要と考えるので活動内容や活動状況を確認した上で、どのような支援ができるのか検討する。発達支援の切れ目のない継続を実施していくために、理解と認識を深め、児童及びその保護者への支援強化に努めていく。

質問 2
子ども行政の一元化について

問 子どもの年齢によって担当窓口が違い大変わかりにくい。母子保健・児童福祉・教育部にまたがっている行政の縦割りを改め、合理化、効率化を図り、子どもについては、この窓口へ行けば間に合うというワンストップサービスのシステムを構築し、町民へのサービス向上につなげる必要があると思うが。

答 システムの構築や職員体制など、整備すべき多くの課題がある。そうした状況の中で、町では、支援内容が複数課に及ぶ場合には、相互に協力・連携を図り、相談者の立場に立った丁寧で切れ目のない支援ができるよう努めていく。

質問 3
子育てに関する情報提供について

問 町のホームページには障害児に関する内容が少なく、情報不足と言う声が届いている。

答 今後は、子育て共生課・町民福祉課で連携し、障害児に関する情報も記載し、町の子育て支援情報を提供していく。また、今後、育児・子育てに不安や悩みを抱えている保護者のニーズに沿った情報も提供していく。

質問 4
第3次かみさと男女共同参画推進プランの進捗と成果について

問 各種審議会の女性委員を2030年までに40%にする目標の達成に向けた施策と進捗と成果、見えてきた課題について。

答 女性委員の割合は、令和3年度19.7%で目標に達成していないのが現状である。

このような女性の登用状況を踏まえ、令和2年度に、町民の方の意見を町政に反映させる事を目的とした上里町男女共同参画人材バンク設立要綱を制定した。女性委員の登用は、政策方針の決定に参画している重要な指針となる為、人材バンクの利用を関係各課に呼びかけして、女性の参画に取り組んでいる。

問 SDGs（持続可能な開発目標）17の努力目標のうち、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」・目標10「人や国の不平等をなくそう」・目標16「平和と公平をすべての人に」など、関連付け、町民生活の意識啓発につなげる男女共同参画推進プランを。

答 第4次かみさと男女共同参画推進プランは、来年度には審議会で審議いただいた上、プラン策定に向けた意識調査を進める。町民の思いを反映させると共にSDGsの目標に貢献できる具体的な計画としていきたいと考えている。



堀 浩之

問 災害情報の伝達手段として

答 ほんじょうFMとも連携していく

質問 ①
ほんじょうFMを活用した災害情報の発信について

問 近年、大型化する台風や線状降水帯は、いっどこで発生してもおかしくない状況である。一昨年の10月に関東地方を襲った台風19号では、町内で約830名の方が地区公民館等へ避難した。当時、町の防災無線は豪雨と暴風にかき消され、聞き取りづらかった。そこで、本庄市に今年4月に開局した「ほんじょうFM」を活用し、よりきめ細やかな地域の災害情報発信を行う予定はあるのか。

答 災害情報の伝達手段については、住民に正確な情報を確実にかつ速やかに伝達するために、多重化・多様化が求められている。防災行政無線は情報伝達手段の中でも大きな役割を担っているが、気象条件や生活環境等により聞こえない、聞きづらい場合もある。

現在、上里町では防災行政無線の他に防災情報メールやホームページ、防災行政無線の放送を聞き直すことができ

る電話応答サービスまた、今年4月からはLINEの運用を開始し、情報の伝達手段の多重化・多様化に努めている。ほんじょうFMとは昨年12月に防犯・防災情報の緊急放送に関する協定を締結した。これにより、災害発生時等の情報伝達手段の一つとして活用していく。



ほんじょうFMロゴ

問 スマートフォンを所有していない人への情報伝達手段として、町からFMラジオを貸与する考えはあるのか。

答 住民ニーズや機器の汎用性等を総合的に考慮し、調査研究していく。防災情報の発

信手段については、受け手の状況に応じた伝わりやすさ、伝達される場所、伝達可能な情報量等、地域の実情を踏まえつつ、複数の手段を有機的に組み合わせる総合的な情報伝達システムの構築と利用の周知に努めていく。

質問 ②
マイナンバーカードの普及について

問 今後、デジタル社会が一層加速する中で、マイナンバーカードはデジタル社会のパスポートと位置づけられているが、直近の上里町の取得率は何%か。また、本庄児玉郡市内の自治体の取得率はそれぞれの程度か。

答 令和元年度末では11.9%の交付率でしたが、令和2年度末では21.9%、令和3年8月15日現在では29.8%と着実に伸びている。近隣市町では本庄市が30.5%、美里町27.1%、神川町24.7%、埼玉県全体では35.3%である。

問 全国1718市町村ある中、各種証明書のコンビニ交付対応市町村は858あるが、今後上里町ではコンビニ交付を導入していくのか。

答 カードの交付率と経費を踏まえると、より多くの住民に公平に利益をもたらすには、現状では効果が期待できる段階ではないと考える。今後適正な時期に具体的な論議ができるよう準備して行く。

質問 ③
火災発生時のサイレン吹鳴について

問 延焼防止のためにも建物火災に限り、サイレン吹鳴を行うべきではないか。

答 サイレン吹鳴は緊急性を有し、住民の生命・身体・財産に関わる事態をお知らせする重要な役割を果たす一方、時間を問わず放送されるので、町内全ての住民の日常生活に大きく影響することから、運用方法については、消防団本部役員会議等で慎重に協議していく。



飯塚 賢治

問 気象防災アドバイザーの活用を

答 今後積極的に活用してまいりたい

1 地域気象防災支援について

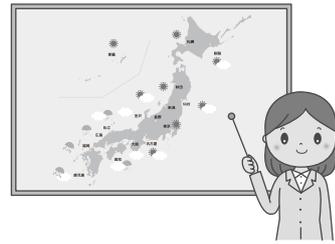
問 気象庁では、提供する防災気象情報が住民の的確な防災行動に結びつくよう、気象台が市町村、都道府県等と一体となって地域防災に貢献するための取り組みを行っている。町にも気象防災情報の専門家を育成することが大切と考えるが。

答 毎年国や県が主催の各種防災担当職員研修に参加している。昨年度は3ヶ月間の内閣府で実際の業務を行いながら、実災害への対応を経験するOJT研修に参加した。

問 各気象台のワークショップや地域の気象に精通している気象防災アドバイザーの活用について。

答 今後も気象防災ワークショップを含め各種研修や訓練への参加を推進していく。防災講習会や講演会について、熊谷地方気象台に依頼し、アドバイザーを派遣いただくこ

とは可能である。今後、積極的に活用してまいりたい。



問 災害時に聴覚障害者がリアルタイムの防災情報に接する際のアクセシビリティ（利用しやすさ）の向上のため、ユーチューブチャンネルを利用してライブ配信する中で手話通訳者を配置した適切な防災情報を流すことについて。

答 認定NPO法人障害者放送通信機構では聴覚障害者向けに「目で聴くテレビ」を放送しており、視聴するには、専用の受信装置が必要で受信装置購入費用の一部を補助しています。ユーチューブについては緊急時の防災情報の伝達を含め、防災に関する研修や啓発の情報を伝えるなど、

新たな取組を研究してまいりたい。

2 企業版ふるさと納税のさらなる活用について

問 近頃、地域活性化に貢献した企業の税負担を軽くする企業版ふるさと納税の制度を使い、企業から寄附を集めようという自治体が増えている。この事業展開に向けて、地域再生計画の策定と企業登録の推進について伺う。

答 寄附の受け入れに必要な地域再生計画の作成にとりかかり、今年度中に内閣府の認定を受けられるよう準備を進めている。

3 網膜色素変性症について

問 暗所視支援眼鏡は網膜色素変性症の方々にとって、夜盲や視野狭窄を克服する一助になるため、日常生活用具として補助制度の導入を願いたい。

答 現在町で実施している日

常生活用具の給付対象は厚生労働省表示に基づき選定している。暗所視支援眼鏡は視覚障害者用拡大読書器の品目の中で給付対象としている自治体もあるようですので、支給要件等を精査して検討してまいりたい。

4 神保原駅について

問 昨年9月に神保原駅北口周辺地区の再開発について、魅力ある町づくり、コンパクトな都市づくりを目指し、神保原地区北口町づくり発起人会が発足した。この際、南側に住む方々の駅利用者のことを考慮し、駅舎は橋上化すべきと考えるが。

答 駅舎建替えについては、多額の費用がかかるため基金を積み立て、計画的に行っていくきたい。駅舎については橋上化を含めて検討するとともに、駅利用者の利便性の向上、安全に利用できる北口駅前広場の整備を推進していく。



高橋 勝利

問

塩原学園移転問題の今後の交渉の進め方は

答

土地取得が最優先の検討事項と捉えていきます

1 令和3年6月発生の八街市の小学生の死傷事故について

問 この事故について町内主婦から、上里町においても防犯対策をしてほしいとの声が届きました。町長は今回の事故をどの様に受け止めたのかお聞きします。

答 厳罰化や社会全体で飲酒運転を許さない環境が醸成されているにもかかわらず、この様な痛ましい事故の原因が飲酒運転である事は許される事ではありません。

問 事故原因に上げられるのが、現場一帯は危険な道路とされながら安全対策は手つかずだった。要望はあったが用地買収の難しさを理由に消極的だった。上里町においてもこの様な悲しい事故を発生させない取り組みを構築して頂きたい。

答 町としても、引き続き飲酒運転根絶及び交通安全に対する周知、啓発等の対策に取

り組んでまいりたいと考えています。未来ある子供・町民が安心安全に暮らしていける事故ゼロの町を目指す事は、かねてより町づくりの中心に据えてきました。



2 塩原学園が移転計画を示してから1年半が経過した事について

問 町民からは、学園が来るのか、来ないのか多くの声が聞かれます。移転計画が示されてから1年半が経過しています。この間、地権者との交渉はどのような形で行ってきたのかお聞きします。

答 移転希望地である地権者

の代理人と、町による公有地化を図る為、交渉を進めてまいりました。交渉の内容は先方との守秘義務があるので申し上げられないが、既に6月議会において議員の皆様には報告させて頂きましたとおり、地権者から再考したいとの申し出がありました。引き続き用地取得に向けて取り組みを継続していきたい旨伝えております。

問 移転を期待する人たちは、町が変わるんだと言っています。駅舎、駅通りの問題、高校誘致についても一体的取り組みで、別問題ではないと思います。

答 学園の事、駅舎、駅北の事について、町づくりの全体像としてしっかり捉えております。高校誘致については、土地取得を最優先にして取り組んでまいります。

3 新型コロナウイルスの接種について町の声をお聞きしました

問 私は、ワクチン接種について町民の方々がどのような思いでワクチン接種を行ったのか、50軒の方々にアンケートの協力をお願いし、多くの方から回答を頂きました。その中で予約方法については、電話予約が24名、ネットが12名、予約は自分でした人が17名、子供にお願いした4名、役場ホールなどでの予約が13名でした。また、電話がかかりにくかった人が31名にも上りました。予約受付でいくつもの問題も発生しました。町の対応についてお聞きしたい。

答 ワクチン接種をめぐる町民の声を丹念に収集された事に対し敬意を表します。予約は円滑に出来たとは言えません。実態としては、全く異なった状況もあると実感しております。議員、区長、民生委員の方々に協力いただき感謝申し上げます。今後は実態を認識し、対策を考えていきます。

議会広報広聴常任委員会が設置されました

令和3年10月1日施行された、上里町議会委員会条例第2条の規定により、総務経済常任委員会、文教厚生常任委員会に加え、新たに議会広報広聴常任委員会が設置されました。

当委員会は議会広報誌の発行、議会報告会の開催、インターネットを使用した情報発信等、議会広報活動に関する事項及び町民からの広聴活動に関する事項を所管します。

委員長	高橋 仁
副委員長	植井 敏夫
委員	黛 浩之
	高橋 茂雄
	高橋 勝利
	仲井 静子
	植原 育雄



議会を見てみませんか

▶ 傍聴してみる

- ①日程を確認する。(議会だより、議会ホームページまたは直接議会事務局への電話でもご確認できます。) 一般質問^(※)は開会日当日と翌日の2日間の日程が多いですが、質問者数や答弁時間などにより変わることがあります。
- ②役場4階(東側)で受付を済ませて傍聴する。(傍聴届に住所・氏名等を記入いただきます。不明な点は議会事務局へお声がけください。)



※ 一般質問とは議員が町政全般に関して、執行者(町長)側に現状や見通しなどを聞くこと。

コロナウイルス感染症対策として、受付の際に体温測定をお願いすることがあります。また、「密」回避のため傍聴者数の制限をすることがあります。



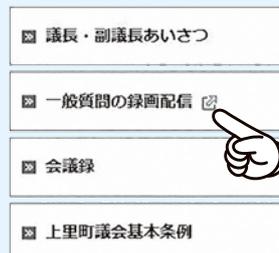
▶ インターネットで見える

「上里町議会」で検索するか、上里町ホームページから「上里町議会」(下図)をクリックします。

スマートフォンの方はQRコード(右図)を読み取る方法もあります。



上里町ホームページから



「一般質問の録画配信」へ

見たい会議と日にち、議員を選択して視聴する。

議会日誌

9月

- 3日 定例会開会、町長の行政報告
一般質問
- 6日 一般質問
- 7日 全員協議会
- 8日 議案審議(条例改正、補正予算等、
決算総括説明)
- 9日 議案審議(決算意見書報告)
- 10日 決算特別委員会(令和2年度決
算審査)～28日
- 30日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

10月

- 1日 常任委員会委員の選任
全員協議会
- 4日 全員協議会
- 6日 全員協議会、決算報告
定例会閉会
- 14日 議会広報広聴常任委員会

11月

- 3日 町制施行50周年記念式典
- 16日 議会広報広聴常任委員会
- 17日 全員協議会、議会運営委員会



編集後記

新しく議会広
報広聴常任委員
会が設置され、
今回の議会だよ
りから編集を行
いました。何かございましたら、
ご意見をいただけましたら有
難く思います。
今年(令和3年)12月1日発行
の上里町にとっては記念すべき年
であり、コロナウィルス
感染症拡大により、数度の緊

急事態宣言が発令されるなど
大変な一年になりました。な
んとか、多くの方がワクチン
を接種することができました
が、まだ安心できる状況では
ありません。
来年はコロナ禍を乗り越
え、明るい一年となるよう願
っております。
皆様がお元気で活躍され
ますように。
植井 敏夫

議会広報広聴 常任委員会

- 委員長 高橋 仁
- 副委員長 植井 敏夫
- 委員 高橋 浩之
- 委員 高橋 茂雄
- 委員 高橋 勝利
- 委員 仲井 静子
- 委員 植原 育雄

12月定例会の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
					(開会) 一般質問	
5	6	7	8	9	10	11
	一般質問		議案審議	常任委員会	(閉会) 報告・採決	
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、
午後の再開は1時30分からです。(時間は変更になることが
あります。)

※議事の進行上、休憩が入る場合があります。

12月定例会一般質問一覧

	氏名	質問事項
3日(金)	仲井 静子	①ヤングケアラー(幼き介護者)への支援について ②孤立・孤独対策について
	植原 育雄	①公共施設再配置・維持保全計画について ②長幡公民館について ③ヤングケアラーについて ④障害児・者の自立と地域社会創りにについて
	納谷 克俊	①産業振興について ②雨水排水対策について ③JR神保原駅を中心としたまちづくりについて ④上里スマートインター周辺関連の整備について ⑤道路整備について
	齊藤 崇	①空き家対策について ②町の公共施設について ③公務員制度について
	高橋 勝利	①町長在任期間が残り4ヶ月になった事について ②町長報酬50%減額が活用できたのか ③学校給食無償化について
6日(月)	高橋 仁	①農業振興について ②公園等の充実について ③上里スマートインターチェンジについて
	新井 實	①文科省の2020年度の「問題行動・不登校調査」について ②ウイズコロナに向けて ③新型コロナウイルス「第6波」への備えについて ④コロナ感染者の「後遺症」について ⑤水道施設の維持管理について ⑥来年4月に実施される上里町長選挙について
	沓澤 幸子	①子育て支援と教育環境等について ②空き家対策について ③プラスチックに係る資源循環の促進に関する法律の施行について ④コロナ対策について
	高橋 茂雄	①子育て支援について



掲載を希望していただく